

常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

総務委員会

- ***育児休業等代替職員**について、新たに正規職員を代替配置することにより、育児休業を取得しやすい環境整備に成果を上げていることから、さらなる取組の充実に期待する。
- ***東静岡の市有地の新たな土地利活用方法**について、第3次総合計画の後期実施計画策定に向け、管理体制の整備等を含め、より事業効果が上がるような取組を実施すること。
- ***清水庁舎の移転建替え**は、学識経験者の専門的な見地や市民目線での意見を踏まえ、様々な観点から検討するとともに、一方で現庁舎の耐震性能、災害時の業務継続性の点からスピード感を持って進めること。
- ***経常収支比率**が、市税や地方消費税交付金等の経常的収入の減少により全国的な傾向と同じく前年度に比べ悪化しているが、行財政改革の推進など全庁的な取組により他都市に比べ本市の努力が感じられる。
- ***ふるさと寄附金**は、シティプロモーションという観点から非常に重要な施策であるため、しっかりと全国に向けてPRすること。
- ***収納率の向上**について、新規滞納者の抑制による効果を踏まえつつ、また、納付相談に際しては相手に寄り添った対応を心がけ、さらなる市税の収納率の向上に期待する。

市民環境教育委員会

- ***女性の活躍応援プロジェクトや人材育成事業で育った人材**が地域や社会で活躍できるよう、フォローアップをすること。
- *市民の健康や安全・安心への関心が高まっているため、**廃棄物の不法投棄や河川等の水質の監視**を一層強化すること。
- *平成34年度までの整備計画が作成されている沼上清掃工場と最終処分場の計画的な修繕に合わせ、家庭ごみの減量及び資源化のため、市民に対して分別の徹底を働きかけるとともに、さらなる**ごみ減量に向けた意識の醸成**を図ること。
- ***南アルプス環境調査事業**については、南アルプスユネスコエコパーク内で計画されているリニア中央新幹線建設事業に関し、希少動植物の保護、大井川の水量減少や残土置き場の問題など、JR東海との協議をしっかりと行うこと。
- ***小中一貫教育**に対する関係者の不安を解消するため、保護者や地域に対する丁寧な説明に努めること。
- ***特別支援学級**については、学級編成基準の緩和や専門的な人材の活用による教育の充実を図るほか、保健福祉機関、医療機関との連携による子どもの成長に合わせた教育を行えるよう検討すること。

企業消防委員会

- ***女性消防吏員の活躍の推進**による市民サービスの向上が図られている中、女性の特性を生かした適材適所の配置により、今後も着実に業務に取り組むこと。
- *平成28年4月1日からの**消防広域化**による災害対応など、連携による効果が表れているため、引き続き、確実かつ円滑に構成市町と連携していくこと。
- ***高齢者の救急搬送**が、過去5年間で、毎年、約1%ずつ増加しているため、今後の活動体制のあり方を検討すること。
- *市民に大規模災害時の断水を体験してもらう**計画断水訓練**は、市民の防災力の向上に有意義なものである。平時から災害等に備える大切さを、今後も市民に積極的に啓発していくこと。
- *マイクロ水力発電の導入可能性の検討など、引き続き、**自然エネルギーの活用**について調査等を進めていくこと。
- *上下水道事業における**重要な管や施設の耐震化・老朽化**については、引き続き、更新計画に基づき対策を進めること。

観光文化経済委員会

- ***市民一人1スポーツの実現**に向け、今まで以上に利用者が満足できるような、施設整備や運営改善に努めること。
- ***まちは劇場プロジェクト**の推進に当たっては、年間を通じて音楽やパフォーマンスが楽しめる機会を積極的に展開すること。
- *本市で**国際会議の誘致**が進まない問題点を掘り下げ、誘致するためには何が必要なのかを検証すること。
- ***若者の就職就労支援事業**については、市内企業が若手の人材を確保できず、従業員の高齢化が深刻になってきているので、若者の地元就職・Uターン就職の促進に向け、今後も事業を充実させること。
- ***清水港の客船誘致や歓迎事業**により、交流や経済活動が活発になっているので、今後も引き続き精力的に取り組むこと。
- *茶農家や茶生産組織への支援策となる**茶園地再編対策事業**は、優良な生産基盤の確保や経営の安定・改善を目指していくうえで大変重要な事業だと認識しているため、引き続き積極的に推進すること。

都市建設委員会

- *スピード感をもった事業実施により**予算の有効活用**に努め、翌年度繰り越しを減少させること。また、決算上、不用額となった経費について、単に不用額とするのではなく、市民からの要望に応えられるよう柔軟な対応に努めること。
- *路線バスは貴重な地域の公共交通機関なので、行政はバス事業者と協力して**バス路線の維持**に努めること。
- ***道路整備**は歩行者や自転車交通の安全、渋滞の緩和、自動車運送の時間短縮、観光交流の促進等、広い範囲に影響するので、今度とも積極的な整備に努めること。
- ***中山間地域などの遠隔地**に住む住民にとって、道路は非常に重要な社会資本であるため、これからも安心・安全で、市民が住むところにより格差を感じることがないように、道路整備に努めること。
- ***河川の維持管理**の関係では、安倍川や藁科川、興津川などの大きな河川の堆積土砂の除去について、河川管理者である国、県に働きかけ、増水時の安全確保を図ること。
- ***草薙駅前駐車場**は、稼働率の低さや施設の老朽化など多くの課題が指摘されているので、民間活力の導入や、存続の可否も含めて抜本的な方向性を検討すること。

厚生委員会

- ***福祉債権の滞納整理**に当たっては、差押えに至る前の段階できめ細かい相談や柔軟な対応に努めることで滞納の解消につなげること。
- ***静岡型地域包括ケアシステム**について、S型デイサービスなどの先進的な取組を行っているが、他都市の事業も参考にして、医師会等との連携を図り、総合的な施策を展開すること。
- ***子育て世代包括支援センター利用者支援事業**について、相談件数が当初の想定以上であるため、引き続き本市の子育て施策を市民に周知し、隠れたニーズを掘り起こしていくこと。
- ***市立こども園の保育教諭**の過半数を非正規職員が占めていることから、業務内容を踏まえて、引き続き、保育教諭の適正な配置に努めること。
- ***清水病院の収支**は、若干、改善しているものの厳しい状況が続いていることから、引き続き、清水地域の住民に寄り添いながら持続可能な収支バランスに向け、改善を進めること。
- ***介護保険料コンビニエンスストア収納代行業務**に関する市民への周知や事前の準備を徹底し、システムに障害がないように実施していくこと。

インターンシップ研修生を受け入れました

静岡市では、学生の就業意識の向上及び市政に対する理解の促進を図ることにより開かれた市政を推進することを目的に、学生に対して市における就業体験の機会を提供しています。市議会でも、9月14、15、19日の3日間、2人のインターンシップ研修生を受け入れました。

研修では、子ども模擬議会の進行補助、フェイスブックの原稿作成、本会議時の傍聴受付など様々な業務を体験してもらいました。

最終日にはインターンシップ研修生が3日間の研修の所感を正副議長に報告しました。



インターンシップ研修生を囲んで

静岡市議会議員からのお願い

公職選挙法の規定により、議員が年賀状などのあいさつ状を出すことは制限されております(答礼のための自筆によるものは除く)。そのため、年末年始のごあいさつは失礼させていただきます。

また、同法では、議員からのお中元やお歳暮、地域行事への寄付や差し入れなどの寄付行為も禁止されています。皆さまのご理解をいただきますようお願い申し上げます。

議員研修会

市議会では、議員の政策立案能力の一層の向上を目指して、議員研修会を実施しています。

10月11日、公益財団法人静岡観光コンベンション協会から名称を変更した「公益財団法人するが企画観光局」のCMO企画開発部長の片桐優氏を迎え、「これからの観光まちづくりについて」と題した研修会を開催しました。



講師:片桐 優氏

陳情審査結果

提出された陳情	結果
国民健康保険都道府県単位化に係る意見書提出についての陳情	不採択